

## 災害医療論

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 小坂 未来 講師		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座、救急・災害医学講座		
対象学年	4	区分・時間数	講義 12時間
期 間	前期		
単 位 数	1単位		

・学習方針（講義概要等）

災害の定義、種類とその特徴、災害急性期から慢性期における災害医療の課題・問題点、傷病者・被災者への支援制度・システムを学ぶ。その中で具体的に看護の役割を理解する。災害対応するための医療知識とともに、災害医療チームの一員として活動できる基本的な知識を修得し、災害時における多機関連携・調整の重要性を学ぶ。

・教育成果（アウトカム）

災害医療の原則や概念、そして過去から現在の災害時の医療活動を学ぶことで、多職種・多機関と連携し、看護師として災害時（急性期から慢性期まで）に適切な活動ができるようになる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：1, 2, 4, 6, 7, 8

・到達目標（SBO）

1. 災害の種類や災害サイクル、支援体制、危機と危機管理について説明できる。
2. 災害時の医療救護活動のフェーズ（超急性期～静穏期）と各期の看護について説明できる。
3. 災害時の医療救護活動の基本である CSCATTT について説明できる。
4. 災害時における医療機関の役割を理解し、適切に対応することができる。
5. 災害周期の変化に対応しながら多職種、多機関と連携・協働の上、安全なケア環境提供を継続する必要性について説明できる。
6. トリアージの方法を理解し、実施できる。
7. 災害時における情報の重要性を理解し、通信手段を習得できる。
8. 収集した情報を分析し、災害の全体像を把握できる。
9. がれきの下の医療を理解し、適切な治療へつなぐことができる。
10. 避難所について理解し、必要な保健・医療へつなぐことができる。

・ 授業日程

(矢) マルチメディア教室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
6/10	金	4	救急・災害医学講座	眞瀬 智彦 教授	災害医学総論 ・危機管理とは、災害関連法、防災とSDGs、CSCATTT、災害時の情報について説明できる
6/14	火	3	救急・災害医学講座	眞瀬 智彦 教授	災害医学各論① ・過去の災害時の医療活動について説明できる ・超急性期から静穏期の看護について説明できる
6/21	火	3	救急・災害医学講座	眞瀬 智彦 教授	災害医学各論② ・避難所での活動を説明できる ・特殊災害について説明できる
6/24	金	3	救急・災害医学講座 救急・災害医学講座 救急・災害医学講座 共通基盤看護学講座	眞瀬 智彦 教授 藤原 弘之 助教 富永 綾 助教 小坂 未来 講師	(実習/ロールプレイ) トリアージ ・トリアージの方法を理解し、実施できる
7/1	金	3	救急・災害医学講座 救急・災害医学講座 救急・災害医学講座 共通基盤看護学講座	眞瀬 智彦 教授 藤原 弘之 助教 富永 綾 助教 小坂 未来 講師	(実習/ロールプレイ) 情報通信・情報解析 ・災害時における情報の重要性を理解し、通信手段を習得できる ・収集した情報を分析し、災害の全体像を把握できる
7/1	金	4	救急・災害医学講座 救急・災害医学講座 救急・災害医学講座 共通基盤看護学講座	眞瀬 智彦 教授 藤原 弘之 助教 富永 綾 助教 小坂 未来 講師	(机上訓練 /協働型ケーススタディ) 受援 ・被災した医療機関における受援を理解し、適切に対応することができる

7/8	金	3	救急・災害医学講座 救急・災害医学講座 救急・災害医学講座 共通基盤看護学講座	眞瀬 智彦 教授 藤原 弘之 助教 富永 綾 助教 小坂 未来 講師	(机上訓練 /協働型ケーススタディ) 避難所 ・災害時における避難所について理解し、支援活動を行うことができる
7/8	金	4	救急・災害医学講座 救急・災害医学講座 救急・災害医学講座 共通基盤看護学講座	眞瀬 智彦 教授 藤原 弘之 助教 富永 綾 助教 小坂 未来 講師	(実習/シミュレーション) がれきの下の医療 ・がれきの下の医療を理解し、適切な治療へつなぐことができる

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
推	災害医学 第2版	山本保博 鵜飼卓 杉本勝彦	南山堂	2009
推	DMAT 標準テキスト 改訂第2版	日本集団災害医学会	へるす出版	2015

・成績評価方法

定期試験（80点）、講義・実習中の口頭試問・議論形式（20点）により、総合的に評価を行う。

・特記事項・その他

**【事前事後学修の具体的内容及び時間】**

シラバスに記載されている内容及び各回に配布・掲示（WebClass 活用）されるレジュメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する

**【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】**

授業の中で試験やレポートを課す場合は、次回の授業で解説を行う。

**【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】**

看護師（別表 3）：統合分野 看護の統合と実践

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター (VPL-FWZ60)	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ (P-100)	1	講義用資料投影
実習	レサシアントレーニングシステム	10	トリアージ実施演習
実習	トランシーバー (MOTOROLA GDB4500)	28	情報通信演習
実習	衛星電話 (ワイドスターⅡ)	1	情報通信演習
実習	衛星電話 (BGAN エクスプローラー700)	1	情報通信演習
実習	衛星電話 (イリジウム Extreme)	2	情報通信演習